

酒井家庄内入部400年記念特別展【第5部】

最終章



酒井家の明治維新

戊辰戦争と松ヶ岡開墾

学んでこそ啓ける未来



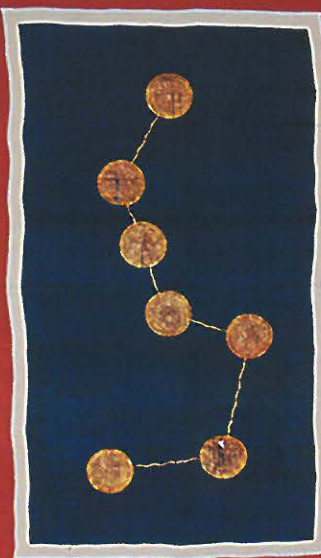
酒井家庄 奥蔵 一政類具足
〔所有者不詳〕当館蔵

酒井家庄 奥蔵 一政類具足
〔所有者不詳〕当館蔵

不学無術

希島書

酒井家庄書不学無術面 当館蔵



酒井家庄所用 庄内産 一政大政類 戊辰戦争用 鶴岡市指定文化財 当館蔵

2022.11.3木祝-12.25日



致道博物館
CHIDO MUSEUM

主催 公益財団法人 致道博物館
共催 山形県・(公社)山形県立酒井家文化財団・鶴岡市教育委員会

山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199

開館 【11月末±c】無休 9:00~17:00(16:30受付)
日時 【12月初旬】水曜休 9:00~16:30(16:00受付)

※年末年始休館日 12月28日(水)~1月4日(水)
入館料 一般800円/高大生400円/小中生300円
※常設展料金を含む 団体料金ほか各種割引有

酒井家の明治維新 戊辰戦争と松ヶ岡開墾



庄内藩主酒井家は、3代酒井忠勝が元和8年(1622)に庄内へ入部して以来、現在に至るまで一貫して“地元”に住み続け、地域振興に力を尽くしています。令和4年(2022)は、庄内藩主酒井家が入部して400年という節目の年です。これを記念し、致道博物館では5つの特別展を開催しています。第5弾、最終章となる本展では、幕末から明治・大正時代にかけての激動期の庄内藩と酒井家の事績を、歴史資料や写真資料などから辿ります。幕府方として戦い抜いた戊辰戦争、明治の新たな時代に興した松ヶ岡開墾事業を紹介し、版籍奉還後の酒井家の歴史にも焦点を当てることで、時代の転換期を再考する機会といたします。

江戸 薩摩藩邸焼討

慶應3年(1867)12月25日
江戸市中取締役の庄内藩兵ら
焼討決行、開戦の引き金に



江戸取締

混沌の時代—苦渋の選択と決意

庄内酒井家 幕末から明治へ

後嗣問題

世子の忠恕 実弟 忠寛の相次ぐ死



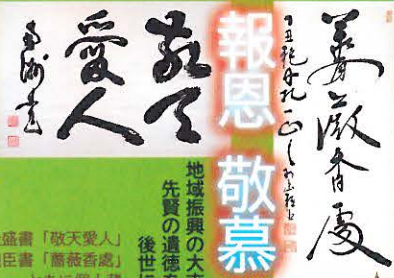
蝦夷警衛

安政6年(1859)
西蝦夷地を拜領、
警備と開墾始める



内憂外患

文化10年(1813)
ロシア船が函館沖へ
幕府が出兵を要請



守護防衛

内戦不可避

関連イベントなど

- ◆学芸員によるギャラリートーク 申込不要
11月26日④、12月10日④ 両日14~15時
- ◆記念講座 講師:今野章氏(鶴岡市郷土資料館)
12月17日(土) 14~16時 要申込
- ◆高校生学芸員による400年記念展示
12月26日(月)まで(旧鶴岡警察署庁舎ホール)
- ◆東北文化の日★小中学生無料入館DAY
11月の土日祝日は、小中学生入館無料!

帰順降伏

明治元年(1868)9月16日
隠居の大殿 酒井忠寛が降伏を決断
藩主 忠篤は謹慎、弟の忠宝が家督

戊辰戦争絵巻(作者不明) 当館蔵

鹿兒島

兵学修行

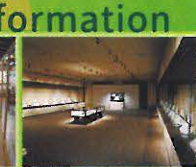
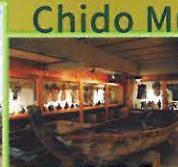
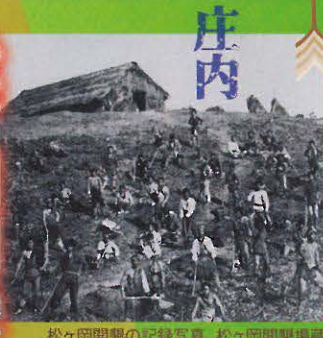
明治3年(1870)
謹慎を終えた酒井忠篤
西郷隆盛のいる鹿兒島へ

独逸留学

ドイツ
ベルリン

旧藩士らと親交を密に築いて別れ
忠篤は兵学 忠宝は法学を研鑽
忠英は庄内で開墾を見届ける

松ヶ岡開墾



Chido Museum Information



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分
- 庄内空港より
車で20分



致道博物館 CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp

「致道(ちどう)」の名称は
庄内藩校致道館に由
縁し、出典は『論語』で
「君子学んで以て其
の道を致す」です。

